

# 「汁谷川みんなで地域観測プロジェクト 第1回ワークショップ」を開催しました

- 香川大学と国土交通省が共同（※）して、危機管理型水位計の有効な活用手法を検討しています。
  - その取組の一環で、10月13日、伊勢市小俣地区のみなさまと川の水位や地域の様子を確かめ、**地域でどう行動するのか**を考えるワークショップを開催しました。
  - 計24人の方に参加いただき、**地域の防災活動の状況確認から、課題、それに対する地域の対応について活発な議論**をしていただきました。
- ※令和3年度河川砂防技術開発公募 河川技術部門河川技術・流域管理分野  
提案課題：地域課題（ローカル観測の地域防災への浸透過程に関する分野）にて香川大学と共同で実施

## ◇開催概要

日時：令和3年10月13日（水） 1部 17:00～18:30  
2部 19:00～20:30

場所：小俣公民館 講堂

議題：①地域での防災活動の状況確認  
②地域が抱える防災上の課題  
③危機管理型水位計の活用方法の検討

出席者：伊勢市小俣地区（汁谷川流域の8自治会） 24人

関係者：香川大学、長岡技術科学大学、大阪工業大学、  
伊勢市、三重河川国道事務所



【進行およびプロジェクトの説明】  
香川大学 創造工学部 講師  
竹之内 健介



【開会あいさつ】  
伊勢市 危機管理部長  
宮本 晃

## ワークショップの様子



## 参加者の主な意見

- ・避難タイミングの伝達方法の難しさを感じている
- ・新たに転入された方などへの過去の水害経験の伝承等が必要

## 開催状況



※新型コロナウイルス感染防止のため、ソーシャルディスタンスの確保、マスク着用、消毒、検温等を徹底して開催。